

第7学年



学びのカテゴリー「多様性」

第6学年では、学校の地域のまちに出かけ、まちにある様々な問題に向き合い、その問題を解決するためにまちづくりを行う人々の思いに触れながら探究してきた。第7学年では、第6学年で行ったまちづくりを行う中で知った、まちに住む多様な人々の思いを大切にして、よりよいまちをつくるための活動を行う。まちをつくる側だけでなく、そのまちに住む人々のそれぞれの立場を尊重し、多様な見方や考え方があることを理解しながら探究していく。

早野 洋子
大坪 雅詩
大塚 光朗

第7学年2組 年間指導計画 「学びの 카테고리」：多様性 (全85時間)

第7学年の目標	(1) 問題解決力に関わって		実社会で活動する人々との関わりを通して生み出された問いをもとに、多様な人々と共によりよく生きるために自分にできることを考え、やり切ることができるようにする。										
	(2) 関係構築力に関わって		社会で活動する人や仲間への考えを肯定的に聞いたり、自分の考えを筋道立てて伝えたりしながら、対立やジレンマに対して、互いに納得できる考えを創り出したり、双方の考えを取り入れながら活動することができるようにする。										
	(3) 貢献する人間性に関わって		自分や身近な社会のよさに気づき、よりよい社会にするために努力する人々に敬意をもちながら、自分にできることを考え、仲間と共に行動しようとする態度を養う。										
カテゴリー設定の理由	第6学年では、学校の地域のまちに出かけ、まちにある様々な問題に向き合い、その問題を解決するためにまちづくりを行う人々の思いに触れながら探究してきた。第7学年では、第6学年で行ったまちづくりを行う中で知った、まちに住む多様な人々の思いを大切に、よりよいまちをつくるための活動を行う。まちをつくる側だけでなく、そのまちに住む人々のそれぞれの立場を尊重し、多様な見方や考え方がることを理解しながら探究していく。												
学びの基盤となる道徳的諸価値	○相互理解、寛容 ・ 尊法精神、公德心 ・ 公正、公平、社会正義 ・ 思いやり、感謝 ・ 勤労 ・ 自主、自立、自由と責任 ・ 向上心、個性の身長 ・ 真理の追求、創造 ・ 国際理解、国際貢献 ・ よりよく生きる喜び												
学びを構成する要素	障がい 仲間 世代 福祉 幼児 国際理解 文化 違い 偏見 ユニバーサルデザイン よりよいまちづくり												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単元名(時数)	多様な人と多様な価値観にあふれる柳ヶ瀬商店街 (35時間)					これからの柳ヶ瀬商店街 (35時間)					これからの柳ヶ瀬商店街の在り方を共に考える (15時間)		
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ○探究テーマを設定する。 ○活動を計画する。 ○身近な街について考える。 ○身近な街で活動する。 ○活動を振り返る。 ○活動を再計画する。 ○今後の活動の見通しを立てる。 ○夏休みの計画を立てる。 			る プ 主 体 的 に ク 情 報 を 立 ち 集 め る 、 実 行 す			<ul style="list-style-type: none"> ○個人の探究内容を交流する。 ○個人の探究内容を生かす方法を考える。 ○「ボランティア」について考える。 ○「これからの柳ヶ瀬商店街」の在り方について考え、提案する計画を立てる。 ○「これからの柳ヶ瀬商店街」の在り方について考えるために必要な情報を集める。 ○「これからの柳ヶ瀬商店街」の在り方について、提案して話し合う。 ○「これからの柳ヶ瀬商店街」の在り方について、提案したことをもとに活動する。 ○活動を振り返る。 			<ul style="list-style-type: none"> ○学びをどのようにまとめるか計画を立てる。 ○高齢者や障害のある人、外国人などに伝えたいことを整理し、何を伝えようか分析する。 ○高齢者や障害のある人、外国人などに学びを伝え、意見を交わして、評価してもらう。 ○1年間のプロジェクトを振り返る。 ○今年度の学びを振り返り、キャリアパスポートを記入する。 			
想定されるエラー(■) ジレンマ(●) 【道徳的諸価値】	<ul style="list-style-type: none"> ■グループや学級で意見がまとまらない、何からやってもいいのかわからない。 ●まちの景観や印象が悪くなるのに、どうして落書きをするのか。 ●もっとできることをしたいし、やってみたいけどイベントのボランティアには自分の予定もあって参加できなかった。 <p>【尊法精神、公德心・公正公平、社会正義・思いやり・勤労・自主、自立、自由と責任など】</p>						<ul style="list-style-type: none"> ■「これからの柳ヶ瀬商店街」の在り方がひとつにはまとまらない。 ●「昔の面影や雰囲気が残るまちをそのまま残したいと思う人々」と「新しいまちを創り上げたいと考えている人々」の思いをすり、どうすべきかと葛藤する。 <p>【向上心、個性の身長・真理の追求、創造・相互理解、寛容・国際理解、国際貢献・よりよく生きる喜びなど】</p>			<ul style="list-style-type: none"> ■自分たちの学んだことや活動を岐阜市に住む高齢者や障害のある人、外国人に話したけれど、自分たちの思いが伝わらなかった。 ●岐阜市に住む高齢者や障害のある人、外国人など、様々な人と共に生きていくにはどうすべきかと葛藤する。 <p>【相互理解 寛容・よりよく生きる喜びなど】</p>			
人材活用施設	・柳ヶ瀬商店街									<ul style="list-style-type: none"> ・柳ヶ瀬商店街 ・岐阜市役所 ・岐阜市にぎわいまち公社 ・ボランティア活動に参加した人々 ・まちづくりに協力する人々 			<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜市に住む高齢者や障害のある人、外国人 ・岐阜市役所 ・岐阜市にぎわいまち公社
教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・国語：情報を的確に聞き取る 情報を整理して書こう 聞き上手になろう ・社会：世界の人々の生活と環境 中世の日本 ・外国語：Friends in New Zealand ・美術：レタリング 暮らしにエコバッグ ・家庭科：私たちの衣生活 ・保健体育：スポーツの多様性 						<ul style="list-style-type: none"> ・国語：情報を的確に聞き取る 情報を整理して書こう 聞き上手になろう ・社会：世界の諸地域 中世の日本 ・外国語：Foreign Artists in Japan Think Globally, Act Locally ・美術：写真題材 ・家庭科：私たちの住生活 ・保健体育：心身の発達と心の健康 			<ul style="list-style-type: none"> ・国語：情報を的確に聞き取る 情報を整理して書こう 聞き上手になろう ・社会：世界の諸地域 近世の日本 ・外国語：This year's Memories ・家庭科：私たちの住生活 私たちの成長と家族・地域 ・保健体育：心身の発達と心の健康 			

単元名	本単元の目標			
	問題解決力	関係構築力	貢献する人間性	
これからの柳ヶ瀬商店街 (35)	柳ヶ瀬商店街のために、自分たちにどんなことができるか探究し、様々な人と出会い、意見を聞きながらこれからどんなまちにしたいか考え、行動を起こすことができるようにする。	柳ヶ瀬商店街の人々、にぎわいまち公社の方、地域でくらす人々、仲間など様々な人の意見を肯定的に聞きながら、互いに納得できる考えを創り出し、活動することができるようにする。	柳ヶ瀬商店街に関わる人々が互いの存在を大切にしながら関わり、暮らしやすい社会を創り上げようと努力していることへの敬意をもち、仲間と共に行動しようとする態度を養う。	
活動の計画	○これまでの活動について振り返る。 ○仲間とこれからどんな活動をしたか話し合う。 ○誰に、どんなことを聞きたいかまとめる。(5)	○岐阜市にぎわいまち公社の方に、これまでの活動について報告し、今後の活動についての意見を聞く。 ○柳ヶ瀬商店街で調査活動を行う。(10)	○「これからの柳ヶ瀬商店街」をテーマに、どんなまちにしたいのかをグループで話し合い、まとめる。 ○テーマを基にどんなまちにしたいのかをグループでまとめた内容について意見交換会を行う。 ○意見交換会の内容を踏まえてどんなまちにしたいのかを考え直す。(12)	○「これからの柳ヶ瀬商店街」をテーマに、どんなまちにしたいのかを市役所で発表する。 ○今回の学びを振り返る。(8)
加筆修正欄				
想定される姿	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアには参加できなかったけど、柳ヶ瀬商店街についてもっと考えていきたい。 自分たちの活動について、いろいろな人に意見を聞きたい 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの活動を聞いてもらい、これからの活動のヒントやきっかけになるアドバイスがほしい。 「これからの柳ヶ瀬商店街」という視点でまちを見たり、まち街の人に意見を聞いたりしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 柳ヶ瀬商店街に賑わいを取り戻すには、店がたくさんできて、人がもっと来てくれる街になるとよい。 最近はマンションもできたから、生活がしやすい場所にしたい。 昔の雰囲気が柳ヶ瀬の魅力だと思うけれど、新しいまちにすることも大事だ。まちにはいろいろな人がいて、意見が違う。これから先、どうすればいいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> たくさんの人に出会って、柳ヶ瀬商店街のよさを改めて感じた。これからも自分にできることで関わっていきたい。
実際の姿				
エラー・ジレンマ	<ul style="list-style-type: none"> 「柳ヶ瀬商店街をたくさんの人が訪れるまちにしたい」と思うお店の方々と「公園などがあつたほうがよいと考える住人の願いの違いに気づき、どちらがよいかと悩む。 		<ul style="list-style-type: none"> 「昔の面影や雰囲気が残る柳ヶ瀬商店街をそのまま残したいと思う人々」と「新しいまちを創り上げたいと考えている人々」の願いを感じ、どうすべきか悩む。 	

(1) 目標

柳ヶ瀬商店街振興組合連合会の水野さんや、岐阜市にぎわいまち公社の白橋さんとの意見交換会を通して、意見に違いがあっても誰もが住みやすいまちにしたいという願いは同じであることに気づき、様々な人々が分け隔てなく幸せに暮らすことできるよう、意見交換会で話し合ったことを取り入れながら、仲間と話し合っグループの提案を見直すことができる。(関係構築力)

(2) 道徳的価値判断に関わって

昔からあるまちを残したいと考える人々と新しい街を創り出そうとする人々の意見や立場について考え、「これからの柳ヶ瀬商店街」をどうしていくかを議論する。本時 (14/35)

活動内容 (○教師の発問 ・予想される生徒の発言)	教師の手立てと見届け						
<p>1 「意見交換会」を行う目的を確認し、共有する。</p> <p>○水野さんや市街地再開発課の方に意見を聞きたいと考えたのはどうしてですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで考えてきたけれど、どうすればいいかわからないし、意見がまとまらない。柳ヶ瀬商店街の水野さんや岐阜市にぎわいまち公社の白橋さんに、自分たちの考えを話して意見を聞きたい。 柳ヶ瀬商店街に行って話を聞いたけれど、それぞれ思いがあって1つにはまとまらない。今日はみんなの今のところの提案や意見も聞いてみたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>10年後の柳ヶ瀬商店街をどのようなまちしていきたいか。</p> </div> <p>2 柳ヶ瀬商店街振興組合連合会の水野さんや岐阜市にぎわいまち公社の白橋さんと意見を交換する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #d3d3d3;">生徒</th> <th style="background-color: #d3d3d3;">柳ヶ瀬商店街の水野さん</th> <th style="background-color: #d3d3d3;">にぎわいまち公社の白橋さん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> もっとにぎわい多くの人が足を運ぶまちにするといい。そのためには、よさを多くの人に楽しんでもらえるように、デザインを工夫することやいろいろなことを考えて困らないようにすることが大切だと思う。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 商店街のよさをこれからも残し、100年続く商店街にしていきたい。 商店街のよさである人とのつながりや、店の人とのコミュニケーションをいろいろな人に広げ、これからも商店街を残していきたい。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> まちづくりに興味がある人たちがまちと関わる機会を増やし、まちづくりの担い手を育成することで、エリアに対する期待を高めたい。 これからは、誰もが住みやすいまちにすることも大切だと考えている。 </td> </tr> </tbody> </table> <p> <ul style="list-style-type: none"> これからもずっと昔のままの商店街を残したいと考えているのは、どうしてですか。 昔のままではなく人が住みやすいまちにしたいと考えているのは、どんな思いがあるからですか。 水野さんの意見と白橋さんの人の意見には、違いがあってどちらも大切だと思う。けれど、まちには様々な人々が暮らしているから決められない部分もあり、水野さんも白橋さんも迷っている。 </p> <p>3 「10年後の柳ヶ瀬商店街」の在り方をチームで考える。</p> <p>○今日の話し合いを踏まえて、「10年後の柳ヶ瀬商店街」をどんなまちにしていきたいか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街には古くからの店もあれば、新しい店もある。いろいろな世代の人がいるから、立場によって意見も違うと思う。だから、このまちで暮らす様々な人ともっと話し合うことが大事だと思う。 昔からのよさもあるし、住む人にとって良い環境も両方ある、そんなまちにしたい。でも、どちらの思いも実現するように、みんながまちのことをどう思っているのか知りたい。 <p>4 本時の学びを振り返る</p> <p>○今日の意見交換会で同じように柳ヶ瀬商店街をよくしたいと思っている人の間にも、違いがあることが印象に残った。いろいろな考えの人がいるということを踏まえて、これからどんなまちにしていきたいか多くの意見を聞いて、もっと考えたい。</p>	生徒	柳ヶ瀬商店街の水野さん	にぎわいまち公社の白橋さん	<ul style="list-style-type: none"> もっとにぎわい多くの人が足を運ぶまちにするといい。そのためには、よさを多くの人に楽しんでもらえるように、デザインを工夫することやいろいろなことを考えて困らないようにすることが大切だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 商店街のよさをこれからも残し、100年続く商店街にしていきたい。 商店街のよさである人とのつながりや、店の人とのコミュニケーションをいろいろな人に広げ、これからも商店街を残していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりに興味がある人たちがまちと関わる機会を増やし、まちづくりの担い手を育成することで、エリアに対する期待を高めたい。 これからは、誰もが住みやすいまちにすることも大切だと考えている。 	<p>○「どうしてこれからの柳ヶ瀬商店街を考えることになったのか」と問い、これまでの活動や市役所の方の願いをもとに、切実感をもって意見交換を行えるようにする。</p> <p>○各チームの状況や困っていることを取り上げることで意見交換会の視点を明確にする。</p> <p>○学級全体の現状を把握するために、どこまで考えたのか、今どんなところで困っているのかを問う。</p> <p>○世代や国籍など様々な人がいろいろな意見をもっていることに気付かせ、未だに答えが出ていない問題であることを理解し、考える場面を位置付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>目標に迫った姿をどのように見届けるか</p> <p>「これからの柳ヶ瀬商店街」をチームで考える場面で、これからのまちについて様々な意見があることを含めた提案を考えようとしたり、自分が考えていなかった立場の意見を取り入れて考えようとしたりしている。(関係構築力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見交換会での発言の様子やグループ学習での様子から見届ける。 </div> <p>○振り返りが書き出せない生徒には、前時までの自分に着目できるように、自分たちが困っていたことやそれまでの考えを想起して振り返ることを促したり、「前時まではどんなことを考えていたのか。」と問いかけたりするなど、生徒の変容を整理できるようにする。</p>
生徒	柳ヶ瀬商店街の水野さん	にぎわいまち公社の白橋さん					
<ul style="list-style-type: none"> もっとにぎわい多くの人が足を運ぶまちにするといい。そのためには、よさを多くの人に楽しんでもらえるように、デザインを工夫することやいろいろなことを考えて困らないようにすることが大切だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 商店街のよさをこれからも残し、100年続く商店街にしていきたい。 商店街のよさである人とのつながりや、店の人とのコミュニケーションをいろいろな人に広げ、これからも商店街を残していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりに興味がある人たちがまちと関わる機会を増やし、まちづくりの担い手を育成することで、エリアに対する期待を高めたい。 これからは、誰もが住みやすいまちにすることも大切だと考えている。 					